【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成30年5月10日(2018.5.10)

【公表番号】特表2016-505016(P2016-505016A)
【公表日】平成28年2月18日(2016.2.18)
【年通号数】公開・登録公報2016-011
【出願番号】特願2015-552772(P2015-552772)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　31/336　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　 9/10　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　35/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　27/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　43/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　29/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　19/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　 9/14　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　 9/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　31/336
Ａ６１Ｐ　 9/10
Ａ６１Ｐ　35/00
Ａ６１Ｐ　27/02
Ａ６１Ｐ　43/00　１０５
Ａ６１Ｐ　29/00
Ａ６１Ｐ　19/02
Ａ６１Ｐ　 9/14
Ａ６１Ｐ　 9/00

【誤訳訂正書】
【提出日】平成30年3月12日(2018.3.12)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】請求項１
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【請求項１】
対象者における血管新生に関連する疾患の治療方法あるいはリスクの減少方法であって、ドコサヘキサエン酸（ＤＨＡ）またはエイコサペンタエン酸（ＥＰＡ）の一つ以上のエポキシメタボライトと医薬的に許容可能な担体を含む医薬組成物を治療的に有効な量で、それを必要とする対象者へ投与することを含む、前記方法。

【誤訳訂正２】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】請求項１３
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【請求項１３】
対象者における炎症に関連する疾患の治療方法あるいはリスクの減少方法であって、ω－３ＬＣＰＵＦＡの一つ以上のエポキシメタボライトと医薬的に許容可能な担体を含む医

薬組成物を、治療的に有効な量で投与することを含む、前記方法。

【誤訳訂正３】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】請求項１６
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【請求項１６】
対象者における血管からの漏れに関連する疾患の治療方法あるいはリスクの減少方法であって、ω－３ＬＣＰＵＦＡの一つ以上のエポキシメタボライトと医薬的に許容可能な担体を含む医薬組成物を、治療的に有効な量で投与することを含む、前記方法。

【誤訳訂正４】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】請求項２０
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【請求項２０】
前記組成物が、ω－３ＬＣＰＵＦＡを含み、１７，１８－ＥＥＱ及び／または１９，２０－ＥＤＰである、請求項１、２、１３、１４、１６または１７のいずれかの方法または使用。

【誤訳訂正５】
【訂正対象書類名】特許請求の範囲
【訂正対象項目名】請求項２３
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【請求項２３】
前記組成物が、ω－３ＬＣＰＵＦＡを含み、１７，１８－ＥＥＱ及び／または１９，２０－ＥＤＰである、請求項３から１２、１５または１８のいずれかの方法または使用。

【誤訳訂正６】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０００２
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０００２】
本発明は、例えば、オメガ３長鎖多価不飽和脂肪酸（ω－３ＬＣＰＵＦＡ）由来の一つ以上のエポキシメタボライトを含む医薬組成物を投与することによって、対象者における血管形成を抑制する、あるいは退行させる、炎症及び血管形成の抑制方法に関する。この医薬組成物は、例えば、エポキシドコサペンタエン酸（ＥＤＰ）の類似体（例えば、７，８－ＥＤＰ、１０，１１－ＥＤＰ、１３，１４－ＥＤＰ、１６，１７－ＥＤＰ、１９，２０－ＥＤＰ）を含むドコサヘキサエン酸（ＤＨＡ）のチトクロームＰ４５０（ＣＹＰ）誘導エポキシメタボライト、及び／またはエポキシエイコサカトラエン酸（ＥＥＱ）の類似体（例えば、８，９－ＥＥＱ、１１，１２－ＥＥＱ、１４，１５－ＥＥＱ、１７，１８－ＥＥＱ）、例えば、１７，１８－エポキシエイコサテトラエン酸（ＥＥＱ）及び１９，２０－エポキシドコサペンタエン酸（ＥＤＰ）の一方または両方を含むエイコサペンタエン酸（ＥＰＡ）のＣＹＰ誘導エポキシメタボライト、オプションとして医薬的に許容可能な担体を含む。この方法は、例えば加齢性黄斑変性、糖尿病性網膜症及び癌などの眼の病状、卒中や癌を含む血管透過性上昇に関連する病状、そして例えば関節炎などの炎症に関連

する病状を含む、炎症や過剰血管形成または血管新生に関連する病状の治療に使用できる。

【誤訳訂正７】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０００５
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０００５】
したがって、第一の態様における本発明は、対象者における血管新生に関連する疾患の治療方法、あるいはその疾患の危険性の抑制方法を提供する。この方法は、例えば表Ａにリストされた、例えば、１７，１８－ＥＥＱ及び／または１９，２０－ＥＤＰ等の、ドコサヘキサエン酸（ＤＨＡ）及びエイコサペンタエン酸（ＥＰＡ）の一つ以上のエポキシメタボライト及び医薬的に許容可能な担体を含む医薬組成物を、治療的に有効な量で投与することを含む。いくつかの実施形態における組成物は、１７，１８－ＥＥＱ及び／または１９，２０－ＥＤＰを含む。例えば、実質的に精製された１７，１８－ＥＥＱ及び／または１９，２０－ＥＤＰを含む。いくつかの実施形態における組成物は、唯一の活性成分として、ドコサヘキサエン酸（ＤＨＡ）及びエイコサペンタエン酸（ＥＰＡ）の一つ以上のエポキシメタボライト、例えば表Ａにリストされたもの、例えば、１７，１８－ＥＥＱ及び／または１９，２０－ＥＤＰ、から実質的になるか、または、からなり、例えば、他の活性成分を含まない。

【誤訳訂正８】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０００７
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０００７】
もう一つの態様においては、本発明は、対象者における炎症に関連する疾患の治療方法、または、その危険性の抑制方法を提供する。この方法は、ω－３ＬＣＰＵＦＡの一つ以上のエポキシメタボライトを含む医薬組成物を、治療的に有効な量で投与することを含む。この医薬組成物は、例えば表Ａにリストされた、例えば、１７，１８－ＥＥＱ及び／または１９，２０－ＥＤＰ、及び医薬的に許容可能な担体を含む。いくつかの実施形態における組成物は、１７，１８－ＥＥＱ及び／または１９，２０－ＥＤＰを含む。例えば、実質的に精製された１７，１８－ＥＥＱ及び／または１９，２０－ＥＤＰを含む。いくつかの実施形態における疾患は、関節炎である。

【誤訳訂正９】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０００８
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０００８】
さらにもう一つの態様においては、本発明は、対象者における血管からの漏れに関連する疾患の治療方法、または、そのリスクの抑制方法を提供する。この方法は、ω－３ＬＣＰＵＦＡの一つ以上のエポキシメタボライトを含む医薬組成物を、治療的に有効な量で投与することを含む。この医薬組成物は、例えば表Ａにリストされた、例えば、１７，１８－ＥＥＱ及び／または１９，２０－ＥＤＰ、及び医薬的に許容可能な担体を含む。いくつかの実施形態における疾患は、卒中である。

【誤訳訂正１０】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０００９
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０００９】
追加の態様において、本発明は、対象者における血管新生に関連する疾患を治療するために、対象者における血管新生に関連する疾患を治療するために、及び対象者における血管新生に関連する疾患を治療するために、例えば表Ａにリストされた、例えば、１７，１８－ＥＥＱ及び／または１９，２０－ＥＤＰ等の、ドコサヘキサエン酸（ＤＨＡ）及びエイコサペンタエン酸（ＥＰＡ）のエポキシメタボライトの使用を提供する。いくつかの実施形態における組成物は、１７，１８－ＥＥＱ及び／または１９，２０－ＥＤＰを含み、例えば、実質的に精製された１７，１８－ＥＥＱ及び／または１９，２０－ＥＤＰを含む。

【誤訳訂正１１】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００３０
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００３０】
本文に説明する方法は、例えば表Ａにリストされた、例えば、１７，１８－エポキシエイコサテトラエン酸（ＥＥＱ）及び１９，２０－エポキシドコサペンタエン酸（ＥＤＰ）の一方または両方の、オメガ３長鎖多価不飽和脂肪酸（ω－３ＬＣＰＵＦＡ）の一つ以上のエポキシメタボライトを含む組成物を投与することを含む。好適実施形態における化合物は、生体外で合成される。例えば、ＤＨＡまたはＥＰＡからの組換えＣＹＰ４５０を使用して生合成される。例えば、Ｌｕｃａｓ　ｅｔ　ａｌ．，Ｊ　Ｌｉｐｉｄ　Ｒｅｓ．２０１０Ｍａｙ；５１（５）：１１２５－１１３３を参照。

【誤訳訂正１２】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００３１
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００３１】
本文に説明する方法は、例えば表Ａにリストされた、ω－３ＬＣＰＵＦＡの一つ以上のエポキシメタボライトを含む医薬組成物の使用を含むことができる。エポキシメタボライトは、１７，１８－ＥＥＱ及び／または１９，２０－ＥＤＰであることが好ましい。このような組成物は、典型的に、有効成分と医薬的に許容可能な担体を含む。本文で使用する用語「医薬的に許容可能な担体」は、食塩水などの希釈液、溶媒、分散媒、コーティング、抗菌剤及び抗真菌剤、等張剤及び吸収遅延剤などを含み、医薬投与に適切なものである。上記組成物には、例えば、一つ以上の抗ＶＥＧＦ剤などの補足活性化合物を統合させることもできる。